

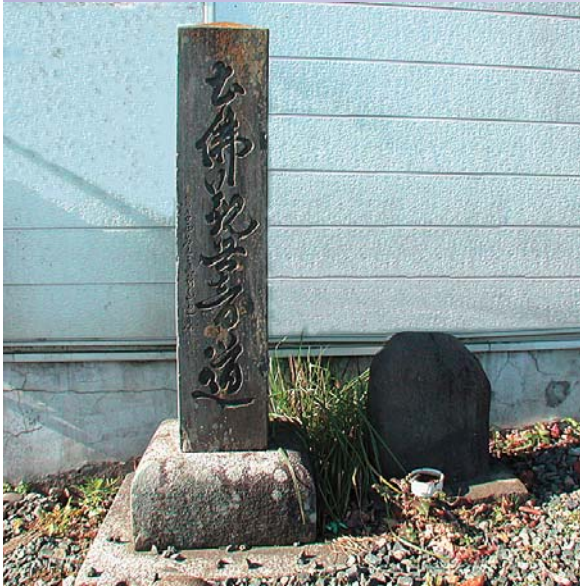
花巻 歴史探訪

【問い合わせ】本庁文化課(☎23-52600)



享保の「追分の碑」

正面に「享保甲辰九年」右八はやつ弥みち「左八はもりおかみち」九月の刻字
(高さ48センチ、幅40～63センチ)



明治の「追分の碑」

東正面に「土佛観世音道」、西裏面に明治廿三庚寅年九月十七日「大興寺三世祖量源宗代」、南面に「吉里式十式町の刻字」
(碑 高さ120センチ、幅25センチ×4面)
(台座 高さ25センチ、幅48センチ×4面)

【所在地 2基】 二枚橋町大通り二丁目25-1に隣接する国道4号敷地
(県道 花巻空港停車場線と国道4号との交差点)

享保の「追分の碑」 この碑は、市内で2番目に古い「追分の碑」です。建てられたのは、享保9年(1724年)將軍徳川吉宗の時代です。碑文から、盛岡へ向かう奥州街道と早池峰への道の分岐点に建てられたことが分かります。早池峰へは、北上川を葛の渡し舟で渡ることから、国道4号をはさんだ向かい側にあったものが国道の拡幅工事で現在地へ移されたと考えられます。奥州街道と早池峰への道の歴史を伝える貴重な有形文化財(歴史資料)です。

明治の「追分の碑」 碑に刻まれた「土佛観世音」は、石鳥谷の大興寺の土佛観音のこと。碑の建てられた明治23年(1890年)は、鉄道が上野から盛岡まで開通し、花巻駅が開業した年です。昭和10年ころの地図では、大興寺へ向かう観音参りの道「土佛街道」が碑の現在地から分岐していたのが分かります。街道は、昭和30年代初めの区画整理により消えてしまいました。かつて盛んだった観音信仰と、失われた「土佛街道」の存在を示す貴重な有形文化財(歴史資料)です。